



# 前進

育てたい力：共感力・探究力・協働力

## ◎今年度のアウトリーチ事業はヴァイオリンとピアノ。

芦北町教育委員会の主催で毎年6年生を対象に実施しているアウトリーチ事業。今年度の演奏はヴァイオリンとピアノによるものでした。ヴァイオリンの演奏は緒方愛子さん、ピアノ演奏は植村和彦さんでした。音楽室で子供たちと対面で行う演奏に、6年生は食い入るように聴き入っていました。ヴァイオリンの弓の部分は遠くから見ると一つの弦のようですが、



実は馬のしっぽの毛が使用されており、200本近くの毛が束ねられている様子にも驚いていました。身近に演奏をしていただくことで、親近感を持って楽器の特徴にも触れることができました。緒方さんは、曲を紹介するときに作曲者の思いや当時の状況について話をされ、音楽は情景を想像しながら聴くとより感動が深まることを実感させて下さいました。クラシック音楽の演奏に触れ親しむ機会が少ない子供たちにとって大変有意義な時間となりました。

## ◎人権集会を行いました。

12月は人権月間。佐敷小学校でも学年部に分かれて人権集会を行っています。それぞれの学級で話し合った人権目標について、実行できているか発表しました。できている部分もあればできていない部分もあり、一度に大きな変容は見られませんが、



「自分も他人も大切にする」気持ちが高まってくることを願っています。

## ◎佐敷中学校とのあいさつ運動

12月4日（月）に佐敷中学生徒会の皆さんとあいさつ運動を行いました。今年度2回目となります。企画委員の子供たちはいつもより早く登校し、登校する小学生・中学生・地域の方々に気持ちの



良いあいさつを行いました。伝統として受け継いでいきたい取組の一つです。

## ◎茶畑見学

1月29日（水）に、3年生は総合的な学習の一環で「お茶のカジハラ」さんの茶畑・製茶工場等に見学に行きました。スクールバスを使用して現地に向かう途中、「まだですか。」「まだ着きませんか。」と声を上げ、楽しみにしている様子



うかがえました。現地では、茶畑の様子を見せていただいたり、製茶工場で緑茶や紅茶を製造する過程の機会を見せていただいたり充実した時間を過ごしました。実際に現地でお話を聞くなどの体験をすることは、子供たちの記憶に深く残るとともに、郷土芦北のことを理解する絶好の機会になると感じました。

## ◎楽しかったわくわく祭り

12月6日（水）に1年生が淳光育児園・認定こども園すくすく・吉尾保育園・大野小学校の子供たちを迎え、わくわく祭りを開催しました。1年生の子供たちはいろいろと準備をし、一緒に楽しい時間を過ごしました。来年度入学予定の子供たちも喜んだと思います。また、大野小学校の友達とも仲を深めることができました。



## ◎水俣の海への理解

1月28日（火）に、水俣の海の魅力を発信し続けているダイバーの森下誠さんが来校され、5年生を対象に講話をしていただきました。ヒメタツなど、水俣の海の様子をお話しいただきました。スライドを真剣に見つめる子供たちの目が印象的でした。



【校長室から】たくさんの行事等が行われた2学期もあと少しで終わろうとしています。多くの地域の方に教育活動にご協力いただいたり、地域での見守りを行っていただいたり充実した教育活動を行うためにお力をいただきました。佐敷小の子供たちを「校区みんなで育てる」という雰囲気これからも高まるよう、コミュニティ・スクール（学校運営協議会）の充実や佐敷中・大野小との連携を今後も深めていきたいと思ひます。令和6年が皆様にとって良い一年であることを願っています。